

---

## 第6部 管理



---

## 第24章 NIC のカスタマイズ

以下に述べるコマンドを使用する前に、325ページの『第28章 コマンドの構文、規則、および操作』の資料をよく理解する必要があります。ネットワーク・プリンターの最初の構成が終わるまで、以下のコマンドをどれも使用しないでください。

また、NPM が、本章で説明されている機能のいくつかを実行するのに使用することができます。詳細については NPM のヘルプをご覧ください。

### 重要!

NIC に対して何らかの変更を行ったか、または NIC コマンドを使用した後に、次のコマンドを入力してください。

```
init delay 0
```

このコマンドにより、変更が有効になります。

---

## ネットワーク・プロトコルを使用不能にする

NIC での印刷に使用していないネットワーク・プロトコルを使用不能にすると、ネットワーク通信量を減少させることができます。InfoPrint プリンターでは、操作盤からネットワーク・プロトコルを使用不能にすることができます。ご使用のプリンターでこの機能がサポートされていない場合、またはこれをリモートで行いたい場合は、次の手順により、ネットワークから NIC のネットワーク・プロトコルを (1 つまたは複数) 使用不能にすることができます。

- 329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』または 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』に記載されている手順のいずれかに従って、NIC にログインします。ログオンができれば、次のコマンドを入力します。

```
define server authorize netware disable
```

- 使用不能にしたいプロトコルに応じて、次に掲げるコマンドを 1 つまたは複数入力します。

- define server authorize netware disable

- define server authorize tcp disable

- define server authorize netbios disable
- define server authorize appletalk disable
- 設定が正しいことを次のコマンドで確認します。  
list server network
- 次のコマンドを入力して NIC を再初期化します。  
init delay 0

**注:** ネットワーク内に占める NetWare 構成要素部分が多い場合には、これは、特に重要です。これを行わないと、NIC は、ネットワークの構成を見つけるためにネットワーク全体を探索するという無駄なことを行うことになるからです。

---

## DEC/LAT および MOP の告知を使用不能にする

IBM NIC が DEC システムで作動することになる場合は、DEC/LAT および MOP 同報通信/告知をオフにする必要があります。

DEC/LAT および DEC/NET 告知を使用不能にするには、以下のように行います。

1. 329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』または 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』に説明される手順のどれかを使用して NIC にログインします。
2. 次のコマンドを使って DEC/LAT 告知を使用不能にします。  
define server announcement lat disable
3. 次のコマンドを使って DEC/NET MOP 告知を使用不能にします。  
define server announcement disable
4. 次のコマンドを使って NIC をリブートします。  
init delay 0
5. NIC からログアウトします。

**注:** 『Announcement (告知)』 コマンドの詳細については、348ページの『Announcement (告知)』を参照してください。

---

## NIC をリポートする

NIC にログインした時に、temp (一時) 設定値に対して行った可能性のある変更を中止して、永続的に保管されている値に戻したり、perm (永続) 値に対して行った可能性のある変更を有効にするには、次のコマンドを使用してください。 <sup>1</sup>

```
init delay 0
```

このコマンドは NIC を即時に (0 分の遅延) リポート (初期設定) します。

---

## サービスの処理

本節では、NIC 上でサービスを追加、削除、および使用可能にするコマンドを記述します。サービスに関連する NIC コマンドの詳細については、375ページの『第35章 サービス・コマンド』を参照してください。

NIC 上でのサービスは、ネットワーク・サーバー上での複数の待ち行列 (すべて同一の物理プリンターによってサービスされます) と同様に、仮想プリンターとして考えることができます。

**注:** 以下のコマンドを使用する前に、NIC にログインしてください。329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』、または 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』を参照してください。それからコマンドを終了した後、次のコマンドを入力して NIC をリポートしてください。

```
init delay 0
```

## サービスの追加

印刷通信量は、エンタープライズ内の部門別、優先順位別、またはプロトコル別に分離、監視、および管理することができます。各サービスでは、1つまたは複数のプロトコルを使用可能にすることができます。あるサービスについて TCP/IP プロトコルが使用可能にされている場合、そのサービスの TCP/IP ポート番号は固有なものでなければなりません。

```
define service service name [TCPport number]
```

---

1. 用語の『temp』 および 『perm』の説明については、327ページの『変更が書き込まれる場所』を参照してください。

## サービスの削除

サービスを削除するには、次のコマンドを使用してください。

```
[clear|purge|delete] service  
service_name
```

## サービス上でプロトコルを使用可能にする

IBM InfoPrint プリンター 上でサービスを使用可能にするには、プリンター操作盤を使用してください。他のプリンター上でサービスを使用可能にするには、次のコマンドを使用します。

```
define service service_name protocol protocol_name enable
```

有効なプロトコル名は、`appletalk`、`netbios`、`netware`、および `tcp` です。

## サービスでのプロトコルの使用不能化

IBM InfoPrint プリンター 上でサービスを使用不能にするには、プリンター操作盤を使用してください。他のプリンター上でサービスを使用不能にするには、次のコマンドを使用します。

```
define service service_name protocol protocol_name disable
```

有効なプロトコル名は、`appletalk`、`netbios`、`netware`、および `tcp` です。

---

## NIC の省略時パラメーターの変更

NIC の省略時パラメーターのリストについては、7ページの『省略時の NIC パラメーター値』を参照してください。

注: 以下のコマンドを使用する前に、NIC にログインします。329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』または 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』を参照してください。それからコマンドを終了した後、次のコマンドを入力して NIC をリブートしてください。

```
init delay 0
```

## NIC 名 (ノード名) の変更

ノード名は、IPX および NetBIOS 印刷 リダイレクト・コードによって使用されます。名前を変更するときは、注意を払う必要があります。

ノード名を変更するには、次のコマンドを入力してください。

```
define server name new_name
```

ここで、パラメーターは次のものを示します。

**new\_name**

NIC の新規名。

プリンターで電源オンを繰り返します。

## NIC パスワードの変更

Telnet を使って NIC にログインするには、アクセス・パスワードおよび次に特権パスワードが必要です。

アクセス・パスワード (省略時値は **access**) を変更するには、次のコマンドを入力します。

```
define server login password "password"
```

**"password"**

引用符で囲まれた新しい特権またはアクセス・パスワード。

特権パスワード (省略時値は **system**) を変更して、NIC パラメーターを変更できるようにするには、次のコマンドを入力してください。

```
define server privilege password "password"
```

---

## TCP/IP プロシージャ

TCP/IP に関連するコマンドの使用についての情報は、251ページの『第21章 TCP/IP アドレス』を参照してください。

---

## NetWare プロシージャ

NIC パラメーターを変更するには、固有の NetWare ユーティリティまたは NIC コマンド行を使用することができます。NetWare に関連するすべてのコマンドの記述については、339ページの『第31章 NetWare コマンド』を参照してください。

ほとんどの NetWare 特性は、次のものから構成されるコマンドを介して表示または設定されます。

```
[list|show|define] server netware ...
```

これに続けていくつかの追加パラメーターを入力します。一般的なセットアップ作業のいくつかを以下にリストします。

**注:** 以下のコマンドを使用する前に、NIC にログインしてください。329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』、または 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』を参照してください。それからコマンドを終了した後、次のコマンドを入力して NIC をリブートしてください。

```
init delay 0
```

## NetWare 印刷サーバー機能の使用可能化/使用不能化

NIC を NetWare サーバーにログインさせ、そのサーバーに常駐する1つまたは複数の印刷待ち行列に直接サービスさせたい場合は、NIC の印刷サーバー機能を使用可能にする必要があります。このようにして NetWare ファイル・サーバーに接続すると、サーバー上のライセンス接続を1つ消費します。NIC の RPrinter 機能だけを使用しようとする場合は、印刷サーバー機能を使用不能にすることによって、NIC がそのような接続を行わないようにし、ネットワーク通信量を削減することができます。

```
define server netware pserver [auto|disable|3.X|4.X]
```

## NetWare RPrinter 機能の使用可能化/使用不能化

NIC が既存の NetWare 印刷サーバー (.NLM または .EXE) の通信量制御のもとで RPrinter として機能するようにしたい場合は、NIC の RPrinter 機能を使用可能にする必要があります。

```
define server netware rprinter [enable|disable]
```

## NetWare サービス名の変更

NetWare LAN のプリンター命名規則に適合するように、サービス (仮想プリンター) を名前変更したい場合は、301ページの『サービスの処理』を参照してください。

**注:** IBM NIC 上のサービスは、正確な意味では、名前変更することはできません。既存のサービスを削除して、その代わりに異なる名前をもつ新規のサービスを (同じプロトコル、TCP/IP ポート番号などを使用して) 作成することができます。



## 優先 NetWare サーバーの指定

プリンターが優先使用する NetWare ファイル・サーバーを指定するには、次のコマンドを使用してください。

```
define node servername nfserver
```

詳細については、341ページの『File Server (Preferred) (ファイル・サーバー (優先される))』を参照してください。

## 必須 NetWare サーバーの指定

ファイル・サーバーを NIC 用の必須ファイル・サーバーとして指定したい場合は、次のコマンドを使用してください。

```
define server netware required [enable|disable]
```

詳細については、341ページの『File Server (Required) (ファイル・サーバー (必須の))』を参照してください。

## NDS のツリーおよびコンテキストの指定

NIC が検索する NDS ツリーを指定するには、次のコマンドを使用してください。

```
define server netware nds treename
```

[共通] オブジェクトがツリーに対する十分なブラウズ権を持たない場合は、コンテキストを指定することが必要です。NIC が検索する NDS コンテキストを指定するには、次のコマンドを使用してください。

```
define server netware context context
```

詳細については、345ページの『Tree (ツリー) (NDS)』および 340ページの『Context (コンテキスト) (NDS)』を参照してください。

## NetWare フレーム・タイプの指定

NIC が使用する Netware フレーム・タイプを指定するには、次のコマンドを使用してください。

```
define server netware frame_type
```

*frame\_tpe* として使用するものの詳細については、9ページの『IBM NIC 上でのイーサネットおよび Token Ring フレーム・タイプ』を参照してください。



---

## 第25章 ネットワーク・プリンターの監視

本章では、ネットワーク・プリンターを監視するために使用することができる IBM プリンター管理モデルおよび何種類かのツールについて説明します。

### NPM の使用法

NPM 使用監視の情報については、NPM オンライン・ヘルプをご覧ください。

---

### IBM ネットワーク・プリンター管理モデル

ネットワーク管理システムを導入したい場合、および NIC で SNMP エージェントを使ったネットワーク・プリンター管理機能の使用を理解する必要がある場合は、本節を使用してください。

#### プリンター管理のインプリメント

プリンターの管理には、次の作業が含まれます。

- ネットワーク・プリンターの状況の監視
- アラームに対する応答
- プリンターの動作に関する統計の収集

ネットワーク・プリンターの監視および管理の 3 つの要素は、次のとおりです。

- エージェント/マネージャー・モデル
- MIB (管理情報データベース)
- SNMP (管理情報を入手するために使用されるプロトコル)

#### エージェント/マネージャー・モデル

監視システム、MIB および SNMP の要素は、エージェント/マネージャー・モデルで実行されます。

- マネージャーとは、コンソール、ワークステーション、サーバーで、ハブやルーターを動かし、NIC やプリンターについて包括的な知識を持ちます。

- エージェントとは、NIC などの装置に常駐するユーティリティーで、SNMP を介してマネージャーの情報の要求に応答します。情報は MIB (管理情報ベース) に保管されます。

## MIB

MIB とは、管理情報ベースで、装置はそこに含まれる情報を SNMP がアクセスできるようにします。MIB は、管理され、制御される実際のオブジェクトについての情報を記述します。定義されている MIB には多くの種類のものがあります。

### IBM ネットワーク・プリンター MIB の標準

プリンター MIB は、次の標準に基づいています。

- System and Interfaces Group MIB (1991 年 3 月の RFC 1213)
- Host Resource MIB (1993 年 9 月の RFC 1514)
- Printer MIB (1995 年 3 月の RFC 1759)

### Printer MIB の構成要素

IBM プリンター MIB により、ネットワーク・マネージャーは、SNMP でサーバーを構成するために、通常は NIC コマンド・セットを使ってアクセスできる情報の大半にアクセスできるようになります。この MIB によって識別されるオブジェクトのなかには、NIC に該当しないものもあります。

Printer MIB の完全な定義は、NIC とともに出荷される DOS 形式のプリンター MIB および TAR 形式のプリンター MIB に示されています。MIB は ASN.1 構文のサブセットで提供されます。Printer MIB は次のセクションから構成されています。

- 一般
- Cover (カバー)
- Localization (ローカライズ)
- Input (入力)
- Output (出力)
- Marker (マーカ)
- Media Path (媒体パス)
- Channel (チャンネル)
- Interpreter (インタープリター)

- Console (コンソール)
- Alert (アラート)

### **MIB によって提供される情報**

Printer MIB は、IBM ネットワーク・プリンターについて次のタイプの情報を含んでいます。

**記述** プリンターの構成、位置、およびコンタクト

#### **Status (状況)**

プリンターの現行の操作状況

#### **Alerts (アラート)**

プリンターから報告可能な事象

### **MIB についての一般情報**

SNMP および MIB についてのさらに詳しい情報は、以下のものを参照してください :

- RFC 1155-Structure and Identification of Management Information for TCP/IP-based Internets (SMI)
- RFC 1156-Management Information Base for Management of TCP/IP internets (MIB)
- RFC 1157 A Simple Network Management Protocol (SNMP)
- Simple Book: An Introduction to Management of TCP/IP-based Internets

### **最新の MIB 情報の入手方法**

これらおよび他の RFC の最新のコピーを入手するには、次の 2 つのソースのどちらかからファイルを FTP により入手してください。

#### **インターネット:**

`ftp.isi.edu\internet-drafts`

#### **WWW:**

`http://www.ietf.cnri.reston.va.us/lid-abstracts.html`

## **SNMP**

SNMP は、マネージャーとエージェント間で通信するために使用されるプロトコルです。マネージャーは、通常は指定された間隔での自動化されたポーリング

を通じて、情報を要求し、エージェントが応答します。SNMP は、主に TCP/IP ネットワークで使用されますが、他のプロトコル (たとえば、IPX) でも実行することができます。

SNMP は、ネットワーク・マネージャーが NIC およびネットワーク上の他の装置から統計および構成情報を入手できるようにするための標準です。これは、IBM NetView などのネットワーク管理ステーション (NMS) を介して行われま

ず。

## 監視ツール

SNMP エージェントを備えるプリンターを監視するには、多くのツールを使用することができます。これらのツールの 1 つに、IBM NetView があります。ここでは記載がありませんが、その他にも MIB ブラウザーがあります。

## OS/2 TCP/IP

SNMP.EXE が MIB 項目をブラウズするために正しく働くようにさせるには、次のファイルを削除する必要があります。

```
d:\mptn\etc\mib2.tbl
```

---

## AIX NetView/6000 を使って監視する

IBM AIX NetView/6000 プログラムは、SNMP エージェントを備える IP アドレス指定可能な装置を管理することができます。

NetView/6000 を使用して、ネットワーク・トポロジーを設定し、ネットワークを監視し、問題を診断し、ネットワーク・パフォーマンスを測定することができます。

その MIB Browser (ブラウザー) を通じて、事象 (アラームなど) に影響を与える資源についての情報を入手することができます。

---

## NetWare 上のネットワーク・プリンターを監視する

本節では、NetWare システムでの監視をセットアップする方法を説明します。IPX/SPX 用にプリンター監視をセットアップするには、次の 2 つのステップが必要です。

1. プロトコルを使用可能にする
2. コミュニティ名およびトラップ・ホスト・アドレスを設定する

## IPX プロトコルの使用可能化

各 NIC が導入されており、ネットワーク用に構成されているかどうかを確認してください。IPX は省略時の設定で使用可能にされています。

1. 329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』で説明されている手順を使用して、NIC にログオンします。

2. 次のコマンドを入力することによって、現行のプロトコル設定値を確認します。

```
show server network
```

3. IPX プロトコル用の設定値についての詳細を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
show server netware
```

4. NetWare プロトコルを使用可能にするには、次のコマンドを入力します。

```
define server authorize protocol netware enable
```

5. プリンターをオフにしてから、オンにして NIC をリブートします。

### ビーコンに注意してください

プリンターをオフにしたら、それをオンに戻す前に、少なくとも、2、3 秒待ってください。オフにしてからすぐにオンにすると、トークンリング・カードがビーコンを始めます。

## コミュニティ名およびトラップ・ホストの設定

次の手順を使って、コミュニティ名、アクセス権限、およびトラップ・ホスト IPX アドレスを設定することができます。

1. 次のコマンドを使って現行の設定値を確認します。

```
show server ch
```

2. 次のコマンドを使って、SNMP コミュニティ名、および関連するアクセス・モードおよびトラップ・ホスト IP アドレスを変更します。

```
change server snmp community com_name access acc_right trap IPX ip_addr
```

**com\_name**

コミュニティ名。

**acc\_right**

コミュニティへのアクセス・モード。アクセス・モードは、read (書き込み)、rw (読み書き)、または none (なし) にすることができます。

**trap** NetWare 用の IPX を入力します。

**ip\_addr**

次の形式での、トラップ・ホストの IPX アドレス  
00-00-00-02 00-04-ac-33-64-08.

**注:** SNMP のコミュニティ名またはアクセス権を変更すると、IBM Network Printer Manager や IBM TCP/IP Network Port Monitor のようなプリンターを監視しているアプリケーションの機能が妨げられたり使用不能になる場合があります。

## SNMP セットの使用可能化/使用不能化

SNMP セットは、省略時の設定では使用可能です。SNMP セットを使用不能にするには、ネットワーク管理者が、必要に応じて、このセットを使用可能または使用不能にする以下のコマンドを入力する必要があります。

```
change snmp set [enabled|disabled]
```

**注:** SNMP set を使用不能にすると、IBM ネットワーク・プリンター・マネージャーや IBM TCP/IP Network Port Monitor といったプリンターを監視しているアプリケーションの機能が妨げられたり使用不能になる場合があります。

## ネットワーク・プリンターの状況の監視

プリンターおよび NIC の状況を監視するには、NetWare プリンター監視ツールのほかに、NIC コマンド行を使用することができます。

コマンド行を使用して NIC の状況を監視するには、次のようにしてください。

1. 329ページの『NetWare IPX を使用して NIC にログインする』で説明されている手順を使用して、NIC にログオンします。
2. 次のコマンドを入力します。

```
monitor server status
```



---

## OS/2 用の NetView を使って監視する

OS/2 用の NetView は、ネットワーク・プリンターを管理、制御、および監視するための管理システムです。

IBM NIC によって要求されるように、OS/2 用の NetView は SNMP プロトコルを使用します。OS/2 用の NetView は、トランスポート・メカニズムとして IP および IPX を使用することができます。そのアプリケーションの 1 つは、MIB Browser (ブラウザー) です。

OS/2 用の NetView は、(OS/2 用の NetWare Client を加えることにより) LAN サーバー、IP に基づくシステム、および NetWare 資源のような OS/2 システムを管理することができます。SNMP エージェントを備える装置は、システムによって管理することができます。

---

## TCP/IP ネットワーク上のネットワーク・プリンターを監視する

本節では、TCP/IP システムでの監視をセットアップする方法を説明します。IP 用にプリンター監視をセットアップするには、次の 2 つのステップが必要です。

1. プロトコルの使用可能化
2. コミュニティー名およびトラップ・ホスト・アドレスの設定

### プロトコルの使用可能化

各 NIC が導入されており、ネットワーク用に構成されているかどうかを確認してください。TCP/IP は省略時の設定で使用可能にされています。

1. 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』で説明されている手順を使用して、NIC にログオンします。
2. 次のコマンドを入力することによって、現行のプロトコル設定値を確認します。  

```
show server network
```
3. TCP/IP プロトコル用の設定値についての詳細を表示するには、次のコマンドを入力します。  

```
show server tcpip
```
4. プロトコルを使用可能にするには、次のコマンドを入力します。  

```
define server authorize protocol tcpip enable
```
5. プリンターをオフにしてから、オンにして NIC をリブートします。

ビーコンに注意してください

プリンターをオフにしたら、それをオンに戻す前に、少なくとも、2、3 秒待ってください。オフにしてからすぐにオンにすると、トークンリング・カードがビーコンを始めます。

## コミュニティ名およびトラップ・ホストの設定

次の手順を使って、コミュニティ名、アクセス権限、およびトラップ・ホスト IP アドレスを設定することができます。

1. 次のコマンドを使って現行の設定値を確認します。

```
show server ch
```

2. 次のコマンドを使って、SNMP コミュニティ名、および関連するアクセス・モードおよびトラップ・ホスト IP アドレスを変更します。

```
change server snmp community com_name access acc_right trap IP ip_addr
```

### **com\_name**

コミュニティ名。

### **acc\_right**

コミュニティへのアクセス・モード。アクセス・モードは、read (書き込み)、rw (読み書き)、または none (なし) にすることができます。

### **ip\_addr**

トラップ・ホストの IP アドレス。IP の場合、形式は、9.99.99.99 です。

3. ネットワーク管理ステーション (NMS) とNICが異なるネットワークまたは異なるサブネット上にある場合には、各 NIC の経路指定テーブルに NMS を追加します。次のコマンドを使用します。

```
change route up nms_address gateway gwy_name gwy_ip
```

### **nms\_address**

ネットワーク管理ステーションのアドレス。

### **gwy\_name**

ゲートウェイ名。

### **gwy\_ip**

ゲートウェイの IP アドレス。

4. プリンターをオフにしてから、オンにします。

**注:** SNMP のコミュニティ名またはアクセス権を変更すると、IBM Network Printer Manager や IBM TCP/IP Network Port Monitor のようなプリンターを監視しているアプリケーションの機能が妨げられたり使用不能になる場合があります。

**ビーコンに注意してください**

プリンターをオフにしたら、それをオンに戻す前に、少なくとも、2、3 秒待ってください。オフにしてからすぐにオンにすると、トークンリング・カードがビーコンを始めます。

## SNMP セットの使用可能化/使用不能化

SNMP セットは、省略時の設定では使用可能です。SNMP セットを使用不能にするには、ネットワーク管理者が、必要に応じて、このセットを使用可能または使用不能にする以下のコマンドを入力する必要があります。

```
change snmp set [enabled|disabled]
```

**注:** SNMP set を使用不能にすると、IBM ネットワーク・プリンター・マネージャーや IBM TCP/IP Network Port Monitor といったプリンターを監視しているアプリケーションの機能が妨げられたり使用不能になる場合があります。

## ネットワーク・プリンターの状況の監視

プリンター状況を監視するには、固有のまたは Unix の状況監視ツールのほかに、NIC コマンド行を使用することができます。

NIC コマンド行からプリンター状況を監視するには、次のようにしてください。

1. 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』で説明されている手順を使用して、NIC にログオンします。
2. 次のコマンドを入力します。

```
monitor server status
```

---

## Syslog サポート用に AIX/UNIX を構成する

固有の AIX/UNIX Syslog 機能は、特定のプリンター状況の変更を記録する機能を備えています。メッセージは、TCP/IP Syslog 機能をサポートする 1 つまたは複数の AIX/UNIX ホストまたは他のホストで標準の TCP/IP Syslog 機能に記録されます。

注: AIX/UNIX Syslog サーバー・ホスト上の Syslog 機能の管理についての知識は必須です。

### Syslog メッセージ

Syslog メッセージは以下の構成要素を含んでいます。

- Syslog ホストで生成される日付/時刻スタンプ
- NIC のノード名または IP アドレス
- ネットワーク・プリンターと NIC 間の接続
- 事象の要旨

NIC によって生成される Syslog メッセージの例を次に示します。

Sep 14 16:30 Printer on server NCT000214 (138.239.17.81),port1(PSI0): Paper out

Syslog サポート用に少なくとも 1 つのノードが構成されている場合、プリンターの事象は自動的に報告されます。そうでない場合は、Syslog 報告が使用不能にされます。ノード用に Syslog を構成する方法についての情報は、317ページの『Syslog 用のノードの構成』を参照してください。

### AIX、SUN Solaris、SCO、および HP-UX 上で Syslog をセットアップする

次の手順により、AIX、SUN Solaris、SCO、および HP-UX 上での Syslog サポートをセットアップします。

1. オペレーティング・システム (OS) ホスト・マシンに root としてログオンします。
2. /etc/syslog.conf ファイルを編集します。
3. 次のように見える行をファイルに追加します。

#### AIX の場合:

```
*.err;*.info;*.debug TAB TAB/usr/adm/syslog
```

#### SUN Solaris、SCO、および HP-UX の場合

```
*.err;*.info;*.debug TAB TAB /var/adm/messages
```

**TAB** コマンドの左の引き数と右の引き数の間に 2 つのタブ・スペースを挿入します。

## Syslogd デーモンの開始

### AIX の場合

**syslogd** デーモンを開始するには、次のコマンドを入力してください。

1. ファイルがまだ存在していない場合は、ログ・ファイルを作成します。  

```
touch /usr/adm/syslog
```
2. 次のコマンドを使って、**syslogd** デーモンを停止します。  

```
stopsrc -s syslogd
```
3. **syslogd** デーモンが停止したことを確認するには、次のコマンドを入力します。  

```
ps -ef | grep syslogd
```
4. 次のコマンドを使って、**syslogd** デーモンを開始します。  

```
startsrc -s syslogd
```
5. 次のコマンドを使って、**syslogd** デーモンが開始したかどうかを確認します。  

```
ps -ef | grep syslogd
```

### SUN Solaris、SCO、HP-UX

SUN Solaris、SCO、または HP-UX のもとで **syslogd** デーモンを開始するには、以下のコマンドを入力してください。

1. ファイルがまだ存在していない場合は、ログ・ファイルを作成します。  

```
touch /var/adm/messages
```
2. 以下のコマンドを使って、**syslogd** デーモンを最新表示します。  

```
ps -ef | grep syslogd kill -1 syslogd PID  
kill -1 syslogPID
```

## Syslog 用のノードの構成

Syslog をサポートするためにノードを構成するには、次のようにしてください。

1. 332ページの『TCP/IP Telnet を使って NIC にログインする』で説明されている手順を使用して NIC にログインします。
2. 次の形のコマンドを入力します。  

```
change node node_name ip ip_address syslog lpr
```

**node\_name**

AIX、SUN Solaris、SCO、HP-UX machine の名前

**ip\_address**

AIX、SUN Solaris、SCO、または HP-UX マシンの IP アドレス

3. NIC からログアウトします。

---

## 第26章 IBM ネットワーク・プリンター管理機能 (NPM)

IBM ネットワーク・プリンター・マネージャー (NPM) は、ネットワーク管理者が、さまざまな環境において IBM ネットワーク・プリンターを監視、制御、および構成できるようにします。NPM は、IBM InfoPrint 20 および 40 (OS/2 用の NPM を除く)、さらに IBM ネットワーク・プリンター 12、17、および 24 を含む IBM ネットワーク・プリンター・ファミリーで機能します。Windows IP および Web バージョンでは、RFC 1759 と適合する他メーカーのネットワーク・プリンター (たとえば、Hewlett-Packard の LaserJet 5Si や Lexmark Optra N) でも NPM を使用できます。

NPM を使用して、管理者は次のことを行うことができます。

- 各プリンターの状態 (アラーム条件など) の表示
- プリンター特性 (省略時解釈の入力トレイなど) の表示や変更
- プリンターのネットワーク特性 (NetBIOS プリンターのネットワーク・ワークグループ名など) の表示や変更
- 環境をカスタマイズするための、プリンターへの新規のネットワーク・サービスの追加 (たとえば、高優先順位および低優先順位の印刷サービスの作成)

NPM の使用方法の詳細については、NPM オンライン・ヘルプを参照してください。

---

### NPM 環境

次の表は、NPM がサポートする環境を示しています。

表 18. NPM 環境

使用する NPM のバージョン	プリンターで構成できるネットワーク・プロトコル	プリンターを監視するのに使用するプロトコル
NPM for OS/2 (英語)	<ul style="list-style-type: none"><li>• TCP/IP</li><li>• AppleTalk</li><li>• NetBIOS</li></ul>	TCP/IP

表 18. NPM 環境 (続き)

使用する NPM のバージョン	プリンターで構成できるネットワーク・プロトコル	プリンターを監視するのに使用するプロトコル
NPM for Windows NT および 95/98 (日本語対応) (IP バージョン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TCP/IP</li> <li>• AppleTalk</li> <li>• NetBIOS</li> <li>• Novell NetWare</li> </ul>	TCP/IP
NPM for Windows NT および 95/98 (日本語対応) (IPX バージョン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TCP/IP</li> <li>• AppleTalk</li> <li>• NetBIOS</li> <li>• Novell NetWare</li> </ul>	NetWare IPX
NPM for the World Wide Web (英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TCP/IP</li> <li>• AppleTalk</li> <li>• NetBIOS</li> </ul>	TCP/IP

## NPM を入手する

NPM は、NIC ボックスの CD-ROM に含まれ、また ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) でも入手できます。NPM の最新バージョンを入手するには、次のようにします。

1. WWW 上の IBM Printing Systems のホーム・ページに次のアドレスでアクセスします。  
<http://www.printers.ibm.com> (米国)、<http://www.ibm.co.jp/printer> (日本)
2. ネットワーク・プリンター・マネージャーを選択します。
3. 指示に従って、NPM をダウンロードします。導入の指示は README ファイルに入っています。



---

## 第27章 組み込み Web ページ

NIC が組み込み Web ページをサポートしている場合は、Web ブラウザーを使用して、次のことが行えます。

- プリンターに関する状況情報へのアクセス
- 現在のプリンター設定値の表示
- NIC 構成ページの表示や印刷
- NIC の構成
- NIC のアップグレード
- NIC の再始動
- IBM Printing Systems Co. の Web サイトへのアクセス
- 組み込み Web ページの使用法を説明するヘルプの表示

100BaseTx NIC 組み込み Web ページにアクセスするには、Web ブラウザーから以下のロケーションに進みます。

`http://n.n.n.n`

ここで `n.n.n.n` は、プリンターの IP アドレスです。

100BaseTx NIC 組み込み Web ページの使用法について詳しくは、Web ページから直接にオンライン・ヘルプをご覧ください。

注:

1. 組み込み Web ページは、100BaseTx NIC で使用できます。他の NIC (イーサネット 10BaseT/10Base2 NIC およびトークンリング) でも使用できますが、NIC マイクロコード・レベル 7.20 がインストールされている場合だけです。新しいマイクロコードのインストールについては、389ページの『NIC マイクロコードを更新する』を参照してください。
2. embedded web pagesを使用するには、次のものがが必要です。
  - NetScape Communicator 4.0、Microsoft Internet Explorer 4.0 のどちらか
  - プリンターに、TCP/IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスが割り当てられていること

